一般社団法人　日本獣医腎泌尿器学会　認定医認定試験　細則

２０２６年　４月１日制定
２０２６年１１月３日改定

（目的）
第 1 条
本細則は、「日本獣医腎泌尿器学会認定医認定医制度規程」に基づき、認定医認定試験（以下「認定試験」という。）の運用に必要な事項を定めることを目的とする。

（実施時期）
第 2 条
認定試験は、原則として年 1 回実施する。

（試験方法）
第 3 条
日本獣医腎泌尿器学会認定医（以下 JAVNU 認定医という。）または日本獣医腎泌尿器学会上級認定医（以下 JAVNU 上級認定医という。）を目指す会員を対象とする。認定試験は、以下の構成により実施する。

1. JAVNU 認定医：基礎問題（多肢選択式、小問 50 題程度)、試験時間 90 分
2. JAVNU 上級認定医：症例問題（多肢選択式、大問 3〜10 題程度、各大問に数問の小問を含む)、試験時間 45 分

（出題範囲、出題内容）
第 4 条：出題範囲
出題範囲は以下のとおりとする。

１．認定講習会のカリキュラム 1〜27（別紙 1 参照）
２．イヌとネコの腎泌尿器病学（別紙 2 参照）

第 5 条：出題内容
出題内容は以下のとおりとする。

１．書籍「イヌとネコの腎泌尿器病学」の内容を重視する（別紙 1、2 参照）
２．イヌとネコの腎泌尿器病学の内容に対応する認定講習会の各カリキュラムから、1〜3 題程度を出題する
３．JAVNU 上級認定医のみ、腎泌尿器疾患症例の診断・治療等に関する症例問題を出題する

（合格基準）
第 6 条
以下の基準を満たした者を合格とする。

1. JAVNU 認定医：基礎問題の正答率が概ね 60%以上であること
2. JAVNU 上級認定医：症例問題の正答率が概ね 70%以上であること

※ なお、問題の難易度を鑑みて、得点調整を行う場合がある。

（受験資格）
第 7 条
「認定医認定制度細則」第 4 条または第 5 条に定める要件をすべて満たしていることとする。ただし、試験日と同日に学術集会が開催される場合は、当該学術集会への参加を受験資格に必要な単位として認める。学術集会への参加が確認できない場合、当該試験の受験結果は無効とする。
※ 2026 年 3 月 31 日以前に認定医プログラムに参加した会員には、「認定医認定制度細則」第 11 条に基づく特例措置が適用される。

（受験料）
第 8 条
受験料は以下のとおりとし、申請時に納付するものとする。
１．JAVNU 認定医：10,000 円
２．JAVNU 上級認定医：20,000 円
※ 2026 年 4 月以前に認定医プログラムに参加した会員には、「認定医認定制度細則」第 11 条に基づく特例措置が適用される。

（合格発表）
第 9 条
合格者の受験番号は、試験日から 1 か月以内を目途に、学会ホームページ上にて発表する。

（再受験）
第 10 条
不合格者は翌年以降に再受験することができる。再受験の回数制限は設けない。

補則
本細則の見直しおよび改訂は、認定審査委員会の決定により行う。

附則
この規程は、2026 年 4 月 1 日から施行する。
（2026 年 11 月 3 日改定）この変更規程は、2026 年 11 月 3 日から施行する。

別紙１ 認定講習会のカリキュラム

1. 泌尿器の発生とその異常および解剖・組織
2. 腎泌尿器の生理機能とその異常
3. 腎泌尿器病の診断 1：臨床徴候および腎機能検査
4. 腎泌尿器病の診断 2：尿検査
5. 腎泌尿器の画像診断 1
6. 腎泌尿器の画像診断 2
7. 腎泌尿器系の病理組織診断 1：細胞診、腎生検
8. 腎泌尿器系の病理組織診断 2：組織診
9. 先天性の腎尿路奇形と遺伝性腎疾患
10. 腎臓の病気 1：急性腎障害
11. 腎臓の病気 2：慢性腎臓病
12. 腎臓の病気 3：尿細管間質疾患、中毒・薬剤性腎障害
13. 腎臓の病気 4：尿細管間質疾患、嚢胞性腎疾患
14. 尿石症 1
15. 尿石症 2
16. ネコの下部尿路疾患
17. 尿路感染症
18. 排尿障害
19. 前立腺疾患
20. イヌとネコにおける泌尿器の腫瘍 1
21. イヌとネコにおける泌尿器の腫瘍 2
22. 腎泌尿器疾患の一般的治療法 1：食事療法、薬物療法
23. 腎泌尿器疾患の一般的治療法 2：透析、腎移植
24. 腎泌尿器の外科手術 1：腎臓、尿管
25. 腎泌尿器の外科手術 2：膀胱、前立腺、尿道
26. 腎泌尿器の外科手術 3：膀胱、前立腺、尿道
27. 時事トピック（1〜4 回、状況に併せて実施する）

別紙２ イヌとネコの腎泌尿器病学の内容

第 1 章 泌尿器の発生とその異常および解剖・組織
1. 泌尿器の発生とその異常
2. 泌尿器の総論、腎臓の形態
3. 腎臓の組織構造
4. 尿管、膀胱の形態
5. 尿道の形態

第 2 章 腎泌尿器の生理機能とその異常
1. 濾過機能
2. 尿細管機能
3. 内分泌機能

第 3 章 腎泌尿器病の診断
1. 稟告
2. 腎泌尿器病の臨床徴候
3. 血液検査
4. 尿検査
5. 尿中バイオマーカー
6. 腎機能検査
7. 尿の細菌培養と薬剤感受性試験
8. 前立腺液のサンプリング法と分析

第 4 章 腎泌尿器の画像検査
1. 各種モダリティの診断的意義
2. 上部尿路の評価法
3. 造影 X 線検査法
4. 腹部 X 線検査と腎泌尿器の造影検査
5. 内視鏡検査

第 5 章 腎泌尿器系の病理組織診断
1. 細胞診
2. 腎生検（コア生検）

第 6 章 先天性の腎尿路奇形と遺伝性腎疾患
1. イントロダクション
2. 腎臓の発生
3. 疾患の定義
4. 病因

第 7 章 腎臓の病気
1. 急性腎障害
2. 慢性腎臓病
3. 糸球体疾患
4. 尿細管間質疾患
5. 中毒・薬剤性腎障害
6. 嚢胞性腎疾患

第 8 章 尿石症
1. 尿石症の定義
2. 尿石症の症状と診断
3. ストルバイト尿石症
4. シュウ酸カルシウム尿石症
5. プリン体尿石症
6. シスチン尿石症
7. その他の尿石症

第 9 章 ネコの下部尿路疾患
1. イントロダクション
2. ネコの特発性膀胱炎

第 10 章 尿路感染症
1. 上部尿路感染症
2. 下部尿路感染症

第 11 章 排尿障害
1. 排尿障害：総論
2. 各論：神経原性排尿障害
3. 各論：非神経原性排尿障害
4. その他の排尿障害

第 12 章 前立腺疾患
1. 前立腺の解剖生理学
2. 前立腺過形成
3. 前立腺嚢胞・前立腺炎・前立腺膿瘍

第 13 章 イヌとネコにおける泌尿器の腫瘍
1. イヌの腎臓の腫瘍
2. ネコの腎臓の腫瘍
3. 尿管原発腫瘍
4. イヌの膀胱原発腫瘍
5. ネコの膀胱原発腫瘍
6. 尿道原発腫瘍

第 14 章 腎泌尿器疾患の一般的治療法
1. 食事療法の基礎
2. 慢性腎疾患の薬物療法
3. 腹膜透析
4. 血液透析
5. 腎移植

第 15 章 腎泌尿器の外科手術
1. 腎臓の外科手術
2. 尿管の外科手術
3. 膀胱の外科手術
4. 前立腺の外科手術
5. 尿道の外科手術